

さいたまトリエンナーレ 2016 アートプロジェクト 多和田葉子による文学インスタレーション作品

参加者
募集

あなたの読み跡を残した 『雪の練習生』をお送りください

さいたまトリエンナーレ 2016 の会期中、会場のひとつである「旧民俗文化センター」に、多和田葉子さんによる「白熊の部屋」が誕生します。多和田さんの著書『雪の練習生』に登場する白熊たちを元に、会場内の一画からインスピレーションを受けて構想を膨らませた「白熊の部屋」。その空間に、読者の方が思いの書き込みをした『雪の練習生』を展示します。

多和田葉子さんからの メッセージ

白熊の部屋の本棚に並べる本を寄贈してください！

書き込みをした「雪の練習生」(多和田葉子著 新潮社/新潮文庫)を募集しています。気になった文章に鉛筆で線を引いたり、感想、思いついたことや疑問を欄外に書き込んだり、挿絵を勝手に描いたり、しおりを挟んだりなどなど、読者が痕跡を残した「雪の練習生」を寄贈してください。

白熊の部屋は誰でも中に入って本棚にある本を手にとり、他の人の読書の痕跡をのぞきこめる空間です。

開催期間は2016年9月24日から12月11日まで。旧民俗文化センターで世界のアーティストたちの様々なインスタレーションが見られます。

白熊の部屋の他にも多和田葉子の文学インスタレーションがいくつか予定されています。

作家プロフィール

多和田葉子 | Yoko TAWADA

1960年、東京都中野区生まれ、1965年、国立市に引っ越す。都立立川高校、早稲田大学第一文学部ロシア文学科卒業。1982年ドイツに移住。会社員を経て、ハンブルグ大学修士課程修了後、チューリッヒ大学博士課程修了。1993年、『犬唄入り』で芥川賞、2003年、『容疑者の夜行列車』で谷崎潤一郎賞受賞。ドイツ語で書いた作品で1996年、シャミツソー賞、2005年、ゲーテ・メダル、2016年、クライスト賞受賞。著作はフランス語訳5冊、英訳4冊のほかにも、アジア、ヨーロッパの多くの言語に訳されている。また20か国以上で総計千回以上の朗読会及びパフォーマンスを行っている。



応募方法

- ・書き込みをした『雪の練習生』(新潮社刊/単行本・新潮文庫のいずれでも)をお送りください。
- ・おなまえ(ニックネーム可)、居住地、年齢、朗読会参加希望、そのほかメッセージがございましたら合わせてお送りください。
- ・お送りいただく場合の送料は、ご負担いただきますようお願いいたします。

応募〆切

2016年11月30日まで

朗読会へのご招待

さいたまトリエンナーレ2016会期中、多和田葉子さんによる「朗読会」を行います。書き込みした書籍をお送りいただいた方を優先的に朗読会にご案内いたします。

日程 | 2016年11月6日(日) 14:00-16:00

会場 | 旧民俗文化センター(さいたま市岩槻区加倉5-12-1)

*朗読会に参加ご希望の方は、書籍をお送りいただく際にその旨お書き添えください。

ご注意

- ・お送り頂きました書籍は、いかなる場合も返却はできません。
- ・寄贈いただいた本は会期終了後、本の再利用を行う複数のNPO等に移譲し、ご活用いただく予定です。あらかじめご了承ください。
- ・スペースに限りがあるため、たくさんのご送付をいただいた場合は、本を入れ替えて展示させていただきますことがあります。

送付先・お問い合わせ

さいたまアートステーション
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-8-9 ナカギンザビル
さいたまアートステーション(担当:里村)
TEL | 048-711-1366 FAX | 048-824-5361
E-mail | event@saitamatriennale.jp

【持込みの場合】さいたまアートステーション開館日:毎週火曜日、金曜日、日曜日 13:00-19:00
※オープンの日時は変更になることがあります。
臨時休館はウェブサイトでお知らせしますので、ご確認のうえお越しください。

さいたまトリエンナーレ2016とは

会期 | 2016年9月24日(土)~12月11日(日) [79日間]
定休日 | 水曜(ただし11/23[水・祝]は開場、翌11/24[木]は閉場) 開場時間 | 10:00-18:00 (入場は17:30まで)
主催 | さいたまトリエンナーレ実行委員会
開催エリア | 与野本町駅~大宮駅周辺、武蔵浦和駅~中浦和駅周辺、岩槻駅周辺
公式ウェブサイト | <http://saitamatriennale.jp>

